

## 令和2年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市會津八一記念館】

施設名	新潟市會津八一記念館		
管理者名	公益財団法人會津八一記念館	指定期間	平成31年4月1日～平成36年3月31日
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課		
所在地	区 名	中央区	住 所 万代3丁目1番1号 新潟日報メディアシップ5階
根拠法令	—		
設置条例	新潟市會津八一記念館条例		
施設概要	設置：昭和50年4月(平成10年市へ寄贈)(平成26年8月1日 移転) 施設規模：鉄筋コンクリート、428.388㎡ 施設内容：展示室、応接室、会議室、事務室、ライブラリー、収蔵庫 料金区分：大人500円、大学生300円、高校生200円、中・小学生100円(特別展を除く)		

施 設 設 置 目 的
會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示することにより、會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資するため
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 ， 方 針 等
會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文学・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、郷土新潟の文化振興とともに、わが国の教育・学術の興隆に寄与する(公益財団法人會津八一記念館定款第3条より抜粋)

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	1 基準利用者数の達成	入場者数年間7000人以上	3,453人	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	2 広報の充実	ホームページアクセス件数年間1万9千件以上	2万5,686件	A	前年度に比べ大幅に増加しており、評価できる。
	3 各種サービス別満足度	展示に対する感想「よかった」以上が80%以上	96%	A	目標を大きく上回り評価できる。
		接客に対する満足度で「普通」以上を80%以上	97%	A	目標を大きく上回り評価できる。
	4 苦情・要望に対する対応	苦情、要望には速やかに対応	対応している	B	
	5 設置目的に合致したサービス提供	文芸講演会の実施件数を年4回以上	2回	C	予定していた内の4回を中止。だが前年イベントの動画配信を1回行う工夫が見られた。
校外学習の受入件数を年20回以上		3回	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。	
アウトリーチ活動の実施件数を年2回以上		6回	A	目標を大きく上回り評価できる。	
6 その他	入館者に占める県外者比率が20%以上	17%	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。	
財務	1 経費の節減	指定管理料を年度協定額及び交付決定額以下に抑える	抑えている	B	
	2 市の歳入の増加	観覧料収入を年間2,600千円以上	921千円	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
業務	1 業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	順守している	B	
	2 安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	連絡網は作成済	B	
	3 事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底及び消防訓練等の実施	毎年実施されている入居ビルの訓練はコロナ禍のため2年度は中止。	-	
	4 日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	提出している	B	
	5 事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	提出している	B	
	6 改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する	改善するよう対応に努めている	B	
	7 運営方針、事業目標の位置づけ	自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか	指針としている	B	
	8 運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針及び事業目標をホームページ等で市民へ公開しているか	公開している	B	
	9 運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立っているか	日常的に事業結果を振り返り、アンケート結果をもとにするなど、多くの目を引き付ける展示、講演会等を目指している。	B	

	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか	定期的ではないが、必要な時は意見を交わしている。	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	主にアンケート回答用紙と内容は催事案内のみに使用。他へは出さない。用紙には「案内以外には使わない」旨を明記	B	
	12	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	前年度は改まった席を設けてはいるが、常に法規集は手元に置き、順守を意識している。	B	
	13	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	個人情報、数字等の厳格管理を徹底し、守秘義務に違反する事例はない。	B	
人 材	1	専門性の高い人材の配置、育成	学芸員を常時1人以上配置すると共に専門性に優れた育成を行うこと	研究者による論文執筆指導を受けたり、論文を発表できる機会を利用して執筆しつづけている。また展示テーマに沿った調査・研究作業で新たな事実の発見整理は日常的に行われている。	B	
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	積極的に職員研修を実施し、スキルの向上に努めているか	事業展開に役立つ内容の研修の機会があれば参加し、上部団体の研修にも出席	B	
	3	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	休暇取得の促進、時間外労働の回避に努めており、違反する事例はない。	B	

評価水準

- A 要求水準＝(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準＝(評価指標)が達成されている。
- C 要求水準＝(評価指標)が達成されていない。

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響が入館者数（一般、児童学生）に大きな影響を及ぼした（合計人数大幅減、県外者伸び悩み）。児童生徒、特に中学生に来てもらいたい、学校側の事情（カリキュラム、指導）で思うに任せない。講演会も中止延期が相次いだ。2021年度はなんとか盛り返したい。

総合評価（所見）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年と比べ、来館者数、講演会、校外学習受入件数などが少ない結果となった。しかし、ホームページアクセス件数が前年度より約7千件増加、サービスに対する満足度が非常に高い、イベントの動画配信など、コロナ禍でもできることをしっかりと取り組んでおり、評価できる。次年度以降も感染拡大防止策に取り組みながら、目標達成に向けて努めてほしい。